

# お薬の飲ませ方のコツ



## 乳児の場合

- ✦ 水薬はそのまま与えます。
- ✦ 粉薬は少量の湯で溶かし、ほっぺの内側や上あごにぬりつけ、その後水、湯で溶かし、ミルクなどを与えます。
- ✦ 溶かすときは、一口で飲める量にして、スポイト、スプーンで与えます。ミルクがらになると困るので、ミルクに混ぜるのはやめましょう。

## 幼児の場合

- ✦ 水薬も粉薬も、なるべくそのまま与える習慣をつけましょう。どうしても嫌がる時は、こどもの好きなものに混ぜて飲ませてもらいませぬ。

## ⊗混ぜる場合の注意

- ✦ ヨーグルト、アイスクリーム、ココア、チョコレートクリーム、ジャム、プリン、ゼリー等に混ぜるなど工夫をしてみましょ。う。
- ✦ 抗生物質の中にはスポーツドリンクや酸味のあるジュース、ヨーグルトに混ぜるとかえって苦くなるものがあります。薬剤師にご相談ください。
- ✦ 市販の服薬用補助ゼリーを利用するのもいいでしょう。
- ✦ 薬の味のせいで食べなくなると困るので、主食となるおかゆやうどん等に混ぜるのはやめましょ。う。

## 😊薬を飲ませるタイミング

- ✦ おなかがいっぱい食後に薬を飲みたがらないときは、必ずしも食後でなくても、朝・昼・夕と時間を決めて5~6時間間隔をあけて飲ませればかまいません。何か食べたがっているときに飲ませるのもいいでしょう。
- ✦ 薬の時間にこどもが寝ている場合は無理やり起こさずに、起きたときに飲ませましょ。う。

## ⊗注意すること

- ✦ 水薬は冷蔵庫で保管します。よく振って1回分ずつ取り分けて飲ませてください。
- ✦ 粉薬は涼しい場所で湿気を避けて保管して下さい。



- ✦ こどもの手の届かないところ、こどもの目にふれないところにしまいましょ。う。

## 🌸 坐薬の使い方のコツ

- ✦ 坐薬は冷蔵庫で保存しましょう。
- ✦ カットする場合は外装の上からはさみ、ナイフなどで切ります。  
(清潔な手で出してから切ってもかまいません)
- ✦ 先を指で温め溶かしたり、肛門や坐薬の先にオリーブオイルやベビーオイルなどをぬると無理なく入ります。奥まで挿入し、しばらく押さえておきましょう。



## 😊 熱さましの坐薬のコツ

- ✦ 熱さましの坐薬は 38.5℃以上でつらそうにしていたら使います。6時間以上たてば追加できますが、1日3回くらいまでにおきましょう。
- ✦ 吐き気止め(または、けいれん予防)の坐薬と熱さましの坐薬を両方使うときは、吐き気止め(または、けいれん予防)を先に入れ、30分以上たってから、熱さましを使います。

詳しくはかかりつけ医の指示に従ってください。



## 🌸 よくある質問

- Q. 余ってしまった薬はどのくらいもちますか？
- A. 粉薬は1カ月、うすめた水薬は冷蔵庫で保存して1~2週間は大丈夫ですが、病気が治ったら思い切って捨てましょう。  
熱さましの坐薬は冷蔵庫で3年程度は保存できますが、体重によって使用量が変わりますので、医師、薬剤師にご相談下さい。
- Q. 飲ませたのに、吐いてしまったら？
- A. 薬を飲んで30分以上たっていれば、ほとんど吸収されているので、もう一度飲ませる必要はありません。飲んですぐ全量を吐いたときには、1回分を飲ませてください。
- Q. 坐薬を入れて、しばらくしたら出てしまったときは？
- A. 熱さましの場合、追加せずに1時間ほど待ってみましょう。熱が下がらなければ、あらためて1回分を追加してください。

薬は指示どおりに飲まなければ、意味がありません。飲みにくいときは遠慮なく、医師、薬剤師にご相談ください。

